

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 糸ぐるま(本庄教室) 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースが広い。 活動に合わせた空間の使い方が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に整理整頓を行い分かりやすく活動が出来るように心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> スペースを有効活用するために整理整頓を意識して行う。 活動ごとに空間やスペースの使い方を工夫していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングで保護者の意向を確認し、日常の中で子どもたちの意向やニーズを把握し活動プログラムや支援計画を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングや送迎時に保護者の意向を確認する。 日常の中で子どもたちの意向を確認し、意見を聞く。 発語が少ない子の気持ちを汲み取れるよう日頃からコミュニケーションを取って、好きなものや嫌いなものを把握出来るようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング以外にも随時相談や面談の申し込みは受け入れて保護者と連携取っていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 安心感を持って楽しく通所出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを取り、楽しく通所できるよう心がけている。 褒めながら出来ることを少しずつ増やしていけるように支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や他事業所と連携を図りながら子どもの意見を尊重し、安心感を持って楽しく通所できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング以外にも必要に応じて面談を行っているが、家族等が参加出来る研修当は行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後検討していく。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会があまりない。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の公園や施設に行く機会はあるがなかなか交流が出来ない。 保育所や認定こども園、幼稚園と併行で利用している児童は多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後交流をする機会がもてるよう検討していく。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会等の開催はない。 きょうだいで利用している子やきょうだい同士が関わる機会はある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後交流をする機会がもてるよう検討していく。